

主文
本件上告は之を棄却する
理由

被告人辯護人弘中武一の上告理由は別紙上告趣意書と題する書面記載の通りである

仍て、按ずるに主要食糧としての米麥に對する価格統制は其の他諸物資に對する統制と共に物價政策の一環として貨幣經濟生活の安定を直接の目的とするものであるから米麥にして其の實質的品質一般通念に照し米麥と稱するに支障なきものは當然米麥としての価格統制に従ふべきものであつて之を価格秩序の埒外に放置して統制価格以上の価格に依る取引を是認し得べき理山はない

〈要旨〉水害により水浸しとなつた米麥も發酵腐敗其の他の爲形狀實質米麥と稱し得ざる程度に變化して居れば格別</要旨>其の後の處理により苟も米麥として食糧に供するに支障なき品質を有するものは依然價格統制の對象となり統制價格を超えて之を買却するに於ては法令違反の責を免れざるものと云はねばならない原判決が被告人に對する犯罪事實として摘示せる事實の要旨は山口縣玖珂郡A農業會は昭和二十年九月十七日水害に依り共の倉庫に保管中の政府管理米の一部に罹災米を生じ之が處理の結果相當數量の玄米が同農業會に於て事實上自由處分を爲し得ることとなつたので同農業會主事であつた被告人はBと共謀し右の内百十六俵を所定の最高販賣價格を超過して他に販賣したと謂ふのであつて其の證據として掲げた被告人の原審公判廷に於ける自白の内容な検討するに右の通り買却した玄米は前記水害による罹災米中變質腐敗の虞あるものとして非常處分をした以外のものの一部であつて米として食糧に供するに何等支障なき品質のものなる趣旨の供述であること明白であり原判決事實摘示は共の措醇稍適當を缺く嫌あるも右の如き品質が米たる趣旨と解すべきものであつて結局原審判決には辯護人主張の如き審理不盡に基く理山不備は認められない即辯護人の主張は採用し難い

仍て刑事訴訟法第四百四十六條を適用し本件上告は之を棄却すべきものとし主文の通り判決する

(裁判長判事 森加重登 判事 柴原八一 判事 藤堂眞二)